



相談室だよりNO.5

学年末考査も終わり、それぞれの学年が終了しようとしていますね。少しずつ寒さも和らいできて、春がすぐそこまで来ているようです。次の新しい年度が皆さんにとって良いものでありますように。スクールカウンセラーの中村先生からもメッセージをいただいていますので、以下に紹介します。

初めて来させていただいた4月から「あっ」という間に一年が経って、年度末の相談室だよりを書かせていただいていることが、不思議な気持ちです。

私たち高校のスクールカウンセラーは、多くても月に2回程の頻度でそれぞれの勤務校に伺っていますが、三国丘高校での一年を振り返ると、月に数回とは思えないくらいぎゅっと濃い、いろんな時間を思い出します。

相談室の中で起こることは、いわば「人と人が対話をするだけ」なのですが、人と人が出会えば化学反応や物語が生まれるもので、1回ごとの対話がそれぞれに、豊かな色合いを空間に残してくれます。

その中には、即興的にその瞬間にしか生まれないものもあって、それは言葉で説明しようとすると溢れ落ちてしまう、対話した当人同士にしかわからない「感覚」のようなものだったりもします。

目の前の人と言葉を使って対話し、感覚的に人生の物語をシェアさせてもらう。そんな相談室での1日が終わると、なにか胸がいっぱいになって脳みそふわふわしながら、帰り支度をするのが常です。

職業柄、「人の話や、特に悩みを聞くのって、しんどくないんですか？」と、聞かれることも多いですが、一階にある相談室を出て、中庭にある三本のクスノキの間を抜けて校門を出る時には、「今日も元気をもらったー」。お一人おひとりの全く違う心の成長プロセスに悩みながらも奮闘する姿に、来た時よりも心が元気になっていることが多いです。

人生という旅にはいろんな時期があって、そのタイムスケジュールは私たちの個性と同じように、本当は多種多様であっていい。でも、旅の途中で私たちは「外側」から来る「社会や誰かの価値」に揺さぶられて、「自分自身の価値—自分の本当の意思や望み」がわからなくなってしまう時があります。

私たち一人ひとりが自分の「内側」のリズムや、他の誰のものでもない自分の価値を思い出せるように。それから、この忙しい毎日の中にも、ほんの少しでも自分の内側を見つめる時間と空間を手に行うことができるように。

相談室が、そんなささやかな時間の一つになれば、嬉しいです。

一年間、至らないところも多々あったと思いますが、改めましてありがとうございました。

SC 中村仁美

令和4年度の相談室開室は、2月28日(火)で終了します。希望がありましたら、事前に相談係の先生や担任の先生に申し出てください。*相談係の先生 堀田先生(英語科) 吉田先生(国語科) 釜外先生(国語科) 内田先生(生物科)

来年度の開室予定は、「相談室だより」にてまたお知らせします。

すこやか教育相談に関する電話番号を紹介しておきます。

すこやかホットライン子ども専用

TEL 06-6607-7361 sukoyaka@edu.osaka-c.ed.jp

さわやかホットライン保護者専用

TEL 06-6607-7362 sawayaka@edu.osaka-c.ed.jp

